



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ディー・ディー・エス
 コード番号 3782 URL <http://www.dds.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 三吉野 健滋
 (氏名) 鈴木 達也

TEL 052-955-5720

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	354	—	△77	—	△96	—	△97	—
23年12月期第3四半期	354	—	△105	—	△150	—	△40	—

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 △106百万円 (—%) 23年12月期第3四半期 21百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	△376.10	—
23年12月期第3四半期	△155.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年12月期第3四半期	1,571	—	△80	—	△6.5	
23年12月期	1,586	—	14	—	0.3	

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 △102百万円 23年12月期 4百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	692	31.8	30	—	14	—	8	—	30.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第3四半期会計期間では売上高136百万円、損益面においては営業利益2百万円、経常利益2百万円の黒字となりました。第4四半期も黒字の見通しであるため、現時点での業績予想の修正はありません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	259,657 株	23年12月期	259,657 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	— 株	23年12月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	259,657 株	23年12月期3Q	259,657 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要により緩やかに持ち直してきたものの、海外景気の減速や中国における反日感情の増大に伴う生産調整もあり、引き続き先行き不透明なまま推移しました。

当社の主たる事業領域である情報セキュリティ業界におきましては、スマートフォンやタブレットPCの飛躍的な普及に伴い、個人情報の漏洩対策に向けた製品開発が積極的に行われました。

こうした状況下において、当社グループはSIerとの連携により既存取引先との関係強化を図るとともに、地方自治体、学校、病院を始めとしたニーズの掘り起こしを行いました。そのほかにも、情報セキュリティ関連展示会出展後の見込み顧客を丁寧にフォローすることで、シンクライアントや仮想化のニーズを持つ顧客開拓を積極的に行い、営業基盤の拡充に努めました。また、モバイル端末機の急速な普及を睨み、Cybertouch-Tech Co Ltd. と資本業務提携を行い、大幅な需要増が見込まれる情報端末機の情報セキュリティへの対応を実施いたしました。あわせて、同社の第三者割当増資引受けにより、資本の増強を図りました。こうした活動の結果、第3四半期の会計期間合計では、売上高は136百万円、損益面においては、営業利益2百万円、経常利益2百万円と、四半期累計を義務づけられた2009年度依頼、初めての期間黒字を計上致しました。また、当第3四半期連結累計期間の売上高は354百万円（前年同期は354百万円）となりました。損益面におきましては、平成24年1月より自社所有物件の不動産に本店移転するなどの経費削減に努めましたが、営業損失77百万円（前年同期は105百万円）、経常損失は営業外利益として為替差益11百万円など、営業外費用として貸倒引当金繰入額5百万円などを計上したため、96百万円（前年同期は150百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて21百万円（7.0%）減少し、281百万円となりました。この主な内訳は、未収入金50百万円、受取手形及び売掛金128百万円、商品及び製品39百万円、現金及び預金12百万円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて6百万円（0.5%）増加し、1,289百万円となりました。この内訳は、有形固定資産1,085百万円、無形固定資産62百万円、投資その他の資産141百万円であります。

投資その他の資産のうち、投資有価証券は73百万円で、これは主にDigitalSecu Co., Ltd.、SuperPix Micro Technology Ltd. 等に対する出資金から構成されております。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて321百万円（41.1%）増加し、1,102百万円となりました。この主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金711百万円、短期借入金136百万円、未払費用80百万円、支払手形及び買掛金27百万円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて241百万円（30.6%）減少し、548百万円となりました。この主な内訳は、長期未払金510百万円、退職給付引当金9百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて94百万円減少し、△80百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現段階において平成24年12月期の通期業績予想は、連結売上高692百万円、連結営業利益30百万円、連結経常利益14百万円を見込んでおり、平成24年2月17日に公表した数値からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、第13期連結会計年度から5期連続して営業損失を計上し、当第3四半期連結累計期間においても77百万円の営業損失および97百万円の四半期純損失を計上した結果、当第3四半期連結会計期間末において債務超過になっております。前連結会計年度末に引続いて当第3四半期連結会計期間末における短期借入金等の流動負債も、手元流動性に対して高水準の債務となっております。当該状況により、当社は継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

こうした状況を解消するために、タブレットPCやスマートフォンなどの情報端末機に指紋認証ソフトウェアが搭載されるよう新たな市場開拓を目的としてCybertouch-Tech Co Ltd. と資本業務提携を行いました。また、売上増大のためwebマーケティングの活用や展示会出展の機会を増やしてバイオメトリクス事業の認知度向上に努めております。

なお、当第3四半期連結会計期間末において当社グループは債務超過でしたが、平成24年10月10日に160百万円の第三者割当増資の払い込みが行われたことにより、債務超過の状況は解消されております。

こうした施策を確実に実行していくことで、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる様な事象または状況は、解消できるものと判断しておりますが、詳細につきましては「4. 四半期連結財務諸表（3）継続企業の前提に関する注記」に後述させていただいております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,298	12,656
受取手形及び売掛金	136,773	128,419
商品及び製品	68,164	39,522
原材料及び貯蔵品	544	38,884
前渡金	2,335	—
前払費用	3,062	4,058
未収入金	203,484	50,058
短期貸付金	2,495	—
その他	2,097	15,399
貸倒引当金	△133,081	△7,090
流動資産合計	303,175	281,908
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	432,292	415,059
建物附属設備（純額）	—	4,775
車両運搬具（純額）	202	154
工具、器具及び備品（純額）	3,458	4,269
土地	661,511	661,511
有形固定資産合計	1,097,465	1,085,770
無形固定資産		
ソフトウェア	79,763	62,307
その他	347	267
無形固定資産合計	80,110	62,574
投資その他の資産		
投資有価証券	68,284	73,022
出資金	10	10
敷金及び保証金	20,122	16,513
長期前払費用	141	—
長期未収入金	8,000	40,800
長期売掛金	133,761	141,027
長期貸付金	49,563	51,326
その他	8	8
貸倒引当金	△174,063	△181,437
投資その他の資産合計	105,828	141,270
固定資産合計	1,283,405	1,289,616
資産合計	1,586,581	1,571,525

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,155	27,865
短期借入金	82,080	136,240
1年内返済予定の長期借入金	475,316	711,582
未払法人税等	7,405	6,677
未払消費税等	13,414	—
賞与引当金	3,050	14,938
未払金	37,794	35,009
未払費用	64,318	80,505
預り金	10,289	9,426
前受収益	29,654	40,865
偶発損失引当金	14,026	14,026
その他	8,978	25,675
流動負債合計	781,483	1,102,814
固定負債		
長期借入金	256,011	—
退職給付引当金	10,651	9,905
長期前受収益	7,537	28,456
長期未払金	516,393	510,453
固定負債合計	790,593	548,815
負債合計	1,572,077	1,651,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,714,720	1,714,720
資本剰余金	1,804,736	1,804,736
利益剰余金	△3,484,348	△3,582,005
株主資本合計	35,107	△62,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,526	△1,789
為替換算調整勘定	△27,023	△37,765
その他の包括利益累計額合計	△30,550	△39,554
新株予約権	9,946	21,999
純資産合計	14,503	△80,104
負債純資産合計	1,586,581	1,571,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	354,898	354,351
売上原価	150,523	131,377
売上総利益	204,375	222,974
販売費及び一般管理費	310,042	300,941
営業損失(△)	△105,667	△77,967
営業外収益		
受取利息	881	883
為替差益	—	11,072
雑収入	352	805
営業外収益合計	1,234	12,761
営業外費用		
支払利息	13,588	20,220
減価償却費	—	5,439
貸倒引当金繰入額	—	5,020
為替差損	31,063	—
債権売却損	182	158
雑損失	1,340	12
営業外費用合計	46,174	30,851
経常損失(△)	△150,607	△96,057
特別利益		
固定資産売却益	30,218	—
退職給付引当金戻入額	2	—
賞与引当金戻入額	617	—
前期損益修正益	1,445	—
貸倒引当金戻入額	3,946	—
投資有価証券売却益	17,004	—
債務免除益	9,598	—
違約金	150,000	—
特別利益合計	212,831	—
特別損失		
固定資産除却損	1,535	199
貸倒引当金繰入額	90,000	—
子会社清算損	8,405	—
原状回復費	—	213
和解金	1,000	—
特別損失合計	100,941	413
税金等調整前四半期純損失(△)	△38,716	△96,470
法人税、住民税及び事業税	1,705	1,186
法人税等合計	1,705	1,186
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△40,421	△97,656
四半期純損失(△)	△40,421	△97,656

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△40,421	△97,656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,485	1,737
為替換算調整勘定	66,990	△10,741
その他の包括利益合計	61,505	△9,004
四半期包括利益	21,083	△106,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,083	△106,661
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、第13期連結会計年度から5期連続して営業損失を計上し、当第3四半期連結累計期間においても77百万円の営業損失および97百万円の四半期純損失を計上した結果、当第3四半期連結会計期間末において債務超過となっております。前連結会計年度末に引続いて当第3四半期連結会計期間末における短期借入金等の流動負債も、手元流動性に対して高水準の債務となっております。当該状況により、当社は継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

また、当第3四半期連結会計期間末において当社グループは債務超過でしたが、平成24年10月10日に160百万円の第三者割当増資の払い込みが行われたことにより、債務超過の状況は解消されております。

なお、こうした状況を解消するため、収益性の高いバイオメトリクス事業における新規顧客獲得の積極的な営業活動を推進しました。あわせて継続的なコスト削減に取り組み収益性の改善に努め、当第3四半期連結累計期間以降において以下のような施策を実施いたしました。

- ①タブレットPCやスマートフォンなどの情報端末機に指紋認証ソフトウェアが搭載されるよう新たな市場開拓を目的としてCybertouch-Tech Co Ltd. と資本業務提携を行いました。また、同社を引受先とした第三者割当増資の実施により、平成24年10月10日に160百万円の払込みが行われました。
- ②指紋認証事業におけるDDSブランドの認知度向上のため、代理店主催の製品説明会への参加や大規模展示会への出展を行うとともに、見込み顧客開拓のためのフォローアップを実施いたしました。
- ③BCPプランの普及が進むなか、在宅勤務等によるリモートアクセス時の情報セキュリティ需要が高まりを見せており、こうした市場の潜在的な顧客開拓のため、WEBやテレマーケティングを活用して営業活動を推進いたしました。
- ④コンシューマー向け、タブレット型PCやスマートフォン向け市場の開拓を睨み、技術開発要員の強化を図りました。また、産学連携を強化して国家プロジェクトや補助金事業に積極的にアプローチいたしました。
- ⑤財務基盤安定化を図るため宮城県、岐阜県および名古屋市に所有する不動産の処分・活用等について鋭意検討いたしました。

今後は、新規顧客や指紋認証における新市場の開拓に努めて営業力の強化を図り、経営基盤の拡充に努めてまいります。

しかしながら、当社の事業の継続は上記の収益性の改善と財務体質の強化を中心とした諸施策の成否に依存しており、こうした施策への取組みが完了前であることから、当社は継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるとともに、当社存続に重大な懸念を生ずる可能性が存在します。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

当社は、平成24年9月24日開催の取締役会において、平成24年10月10日を払込期日とする第三者割当増資を決議し、平成24年10月10日に払込が完了いたしました。その結果、債務超過の状況は解消されております。

- ・株式の種類及び数 普通株式51,931株
- ・発行価額 1株につき 3,100円
- ・発行価額の総額 160,986,100円
- ・資本組入額 1株につき 1,550円
- ・割当先 Cybertouch-Tech Co Ltd.
- ・払込期日 平成24年10月10日